

人権学習展開例

第5・6学年共通

●主題名

いじめを許さない

●教材名

「いじめは残酷だ」

(出典：「いじめは残酷だと思った。」「中学生の道徳3」廣濟堂あかつき一部改変)

●人権学習の視点

個別的な視点「子どもの人権問題」

●主題・教材について

本教材は、小学生のころの自分が行ったいじめを振り返った手記である。10年という歳月が経っても消えぬ過ちの記憶、いじめの残酷さを肌で感じた後悔の念がつづられている。指導に当たっては、いじめ者・いじめられる者の家族の心情を想像することを通して、いじめが極めて身勝手に愚かな行為であり、いじめられる者はもちろん、関わるすべての人を不幸にすること、幸せに生きる権利を奪ってしまう場合もあることに気付かせたい。また、我が子の幸せを願う親の愛情を想像し、いじめを絶対に許さないという態度を養いたい。

なお、「いじめの種 ぼくめつ作戦」と合わせて指導することで、いじめに立ち向かう、より実践的な態度につなげていきたい。

●ねらい

いじめをいじめ者・いじめられる者の家族の視点から考えることで、いじめの愚かさを知り、いじめを断固として許さないという態度を養う。

●関連する教材

人権学習資料集<小学校編Ⅳ>いじめの種ぼくめつ作戦(3~6年生用)

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○いじめとは何か考えさせる。	個別 一斉	○自分が考えるいじめとは、何か交流する。	○思いつくことをできるだけたくさん書かせる。	ワークシート
	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。		
「いじめ」について考えよう					
展開	○「いじめは残酷だ」を読み聞かせ、いじめの原因を考えさせる。	一斉	○なぜ「ぼく」は、Aくんをいじめたのか話し合う。	○身勝手にAくんをいじめていることをとらえさせる。	
	Aくんと「ぼく」のお母さんの気持ちを考えよう				
展開	○Aくんの母親の気持ちを想像させる。	個別 一斉	○いじめられたAくんの様子を見たAくんの母親の気持ちを考え、話し合う。	○いじめられた子の母親の心の痛みを想像させる。	ワークシート
	○「ぼく」の母親の気持ちを想像させる。	個別 一斉	○頭を下げて謝る「ぼく」の母親の気持ちを考え、話し合う。	○自分の子どもがいじめを行った母親の悲しみやいじめられた子に対する謝罪の気持ちを想像させる。	ワークシート

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開	大粒の涙を流した「Aくん」のお母さんはどんな気持ちだったのでしょうか				
	○Aくんの母親の気持ちを想像させる。	グループ 一斉	○大粒の涙を流したAくんの母親の気持ちを考え、話し合う。	○自分の子どもがいじめを受けた母親の悲しみと、子どもの幸せを願う愛情について想像させる。 ○いじめは多くの人を不幸にすることに気付かせる。	ワークシート
まとめ	「いじめ」とは何か？学習のふり返りを書きましょう				
	○振り返りを書かせる。 ○本時のまとめをする。	個別 一斉	○学習を通して、「いじめ」とは何か、自分が考えたことを書く。 ○教師の話を書く。	○いじめめる者・いじめられる者の家族の視点からいじめについて考えたことを、これからの自分の生き方に関連させて書かせる。 ○いじめは当事者だけでなく大切に育ててきた家族の幸せを奪う行為にもなることを確認する。	ワークシート

●評価

いじめをいじめめる者・いじめられる者の家族の視点から考えることで、大切に育ててきた家族や周りの人の幸せを奪うことになる場合もあることを知り、いじめを断固として許さないという態度を養うことができたか。

平成 28 年度人権擁護啓発ポスターコンクール入選作品



京都府中小企業団体中央会会長賞
向日市立第3向陽小学校 2年
縄間 滉右 さん